



子どもの発達を理解と支援に向けて いま社会に求められることは何か



子どもはどのように発達するのか。また、子どもの健やかな育ちのために私たちは何ができるのか。本シンポジウムでは、発達心理学の基礎研究と、実践活動の双方に携わる3名の専門家を招き、この問題について参加者の皆様とともに考えます。保育や教育・福祉や医療の現場で子どもに関わる方、また、子どもの心の育ちやそれを支える社会文化的環境に関心がある方はぜひご参加ください。

企画：江尻 桂子（茨城キリスト教大学）・ 畑野 快（大阪公立大学）

2022年 11月 6日(日)
13:30 - 16:00

会場：Zoom ウェビナー（オンライン開催）

定員：1,000名【無料】

申込締切：2022年11月3日(木)（事前申込制）

https://psych.or.jp/event/sympo2022_child/



話題提供：

明和 政子（京都大学）

武居 渡（金沢大学）

秋田 喜代美（学習院大学）

ポストコロナ社会でのヒトの育ちを考える
子どもの言語獲得を保障すること
社会文化的環境が子どもの行動変化に
与える影響を考える

- ・どなたでもご参加いただけます。
- ・日本心理学会ホームページにてご案内しておりますZoomウェビナーのURLにアクセスし、必要事項を「事前登録」してください。登録後Zoomウェビナーより「確認」メールが届きますので、当日は確認メールの「このURLをクリックして参加」よりご参加ください。お知らせいただいた個人情報は、受付の目的のみに利用いたします。

